

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

もくじ

- ちた型0～100歳のまちづくり基金と地域包括ケア… 1P
- ファシリテーションスキル研修 …………… 2P
- オプション見学研修 …………… 2P
- 東海市職員研修…………… 2p
- うめぶるバスツアー参加者募集…………… 2P
- 強度行動障害支援者養成研修(実践) 3P
- ベティ基金 新たな展開へ…………… 3P
- フードバンク第4回意見交換会…………… 3P
- リレーインタビュー …………… 3P
- インフォメーション …………… 4P

ちた型0～100歳のまちづくり基金と地域包括ケア

あいちコミュニティ財団が創設した「ちた型0～100歳のまちづくり基金」は、おかげさまで発起人募集期間の10月21日までに目標寄付金額の100万円を超え、東浦町多職種連携ボランティア「チームにじ」が、第1回基金活用団体に選定されました。

「チームにじ」は、2012年東浦町地域円卓会議「誰もが安心して暮らせるための、住民主体の連携体制づくり」のあと、NPO法人絆の認知症啓発映画上映会を協力開催し、これまでに2回のシルバーフェスタを開催。

9月に行われた第2回では、13の町内介護施設PRコーナーや包括支援センター・人権擁護委員による何でも相談、サロン連絡会による認知症理解ロールプレイ、シルバー人材センターによる包丁研ぎ実演、老人クラブの日本舞踊ショー、訪問看護ステーションまちの保健室、うたごえサークルによる歌声喫茶、防災ネットが防災グッズコーナー、ポーラ化粧品によるプチメイク&ハンドマッサージ、65歳成人式メンバーによるチャレンジ体験コーナー(少林寺体操、けん玉で遊ぼう、竹笛をつくろう)のほか、NPO法人絆がウエディングドレスでの変身写真コーナー、にじカフェと、多様な主体による多彩な企画で、訪れた500人の町民が楽しんでいきます。運営ボラ



介護施設が有料出展。バイトル、握力測定など予防啓発も



看護師、理学・作業療法士など医療専門職が予防・リハビリ指導



嫁さん菓子も登場した、変身写真

ンティアも130人を超え「来年もぜひ」の声が。

特に今回は、「0～100歳、みんなでつくるあしたの東浦」のテーマの元、親子・孫子連れでの参加を見込んで子どもが楽しめる企画が盛りだくさん。セカンドハーベスト名古屋の寄贈食品も景品に活用しています。

この基金は、立場の異なる組織5者以上のプロジェクトチームで申請、選定エリアの課題を明確にし、さらなる連携を深める事業に生かされます。いわば、その地域に中間支援力を生み出す仕掛け。本当の地域課題はどこにあるのか、どんな取り組みが求められるのか、どう手を合わせ解決していくのか、財団ボランティアが伴走支援し、地域をアセスメントしていきます。東浦町の0～100歳の地域包括ケア、今後の展開が期待されます。

なお、この基金は現在も寄付募集中です。次回のちた地域のチャレンジのためにぜひ寄付でご参加いただき、関心をお寄せください。(岡本一美)

居住支援学習会 ～誰もがこの地域で暮らすには～

- 日時： 11月10日(木)13:00～17:00
- 会場： 知多市市民活動センター
- 対象： テーマに関心のある方はどなたでも
- 講師： 阪井ひとみさん
(N)おかやま入居支援センター理事
阪井土地開発株式会社代表取締役
- 参加費： 無料

* 詳細はチラシをご覧ください

■ファシリテーションスキル研修

今年度、豊田市の協議体運営能力向上研修を受託し第2層協議体を運営する包括センターを対象に全体研修やモデル協議体の運営支援などを行っている。9月5日包括職員23名を対象に相談会を開催したところ、共通して住民の主体性を引き出し生活支援の活動を生み出す「協議体」運営支援が難しいと感じていることが判明した。

そこで、主体性を引き出すファシリテーションスキルに着目し、10月5日（水）知多市市民活動センターにて自主企画した。講師には（一社）ウェルビーデザインの前原辰二氏、佐藤大介氏の両氏を迎え、地域活動を推進するチカラを引き出す進行について学んだ。会議メンバーの価値観を認め合うための会全体に関わるルール設定、アイスブレイクの活用、ゴール設定、会議全体のふりかえりを体験、共有した。（市野）

■目的に合わせたオプション見学研修

NPO現場見学バスツアーでは、年間3回の定例開催するツアーだけでなく、参加者の要望に合わせたオプションツアーも開催している。

9月15日知多市八幡地区民生・児童委員協議会主催の研修として南医療生協病院と複合施設「よってって横丁」を見学。生協の班会は地域の人と人をつなぐ役割として地域役員活動と通じるものがあり、参考にしたいとの感想が寄せられた。続いて(N)ゆいの会では、知多市生活支援体制整備事業について第1層の生活支援コーディネーターと民生委員との連携について話を聞き、参加者からも検討していきたいとの声が上がった。



組合員から南医療生協の相互扶助にこだわった「お互いさま」というすけあい事業説明を受けた

また、10月8日一宮市市民活動支援センター「ちた型0～100歳のまちづくり」研修として、(社福)むそう、(N)りんりん、(N)ごんのふるさとネットワークを訪問した。

地域にこだわり「一人の問題は地域の課題」として取り組んでいるそれぞれの団体に参加者からは、「お手本にしたい活動であり一宮市でもつながり活動の輪を広げていきたい」との感想を得た。（安藤）

■東海市職員研修



新規採用職員全員を対象に「協働の理解」をテーマとしたNPO現場見学を毎年行っている

10月11日の午前は、地域社会問題と知多地域NPOの経緯についての講義の後、市民協働課佐々木統括主任、(N)まち・ネット・みんなの広場加藤理事長から東海市

市内の協働の現状、行政とNPOが協働する利点や注意点などを伝え、期待することとして「行政は組織体制があるので変えていくには数年かかる。だからこそ5年10年先を見据えて、地域と結びつきながら職員として何ができるかを考えてほしい」と語りかけた。

午後の現場見学は、自身の体験から助けあい活動を先駆的に始めた(N)東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛、子どもの遊びの場の環境づくりを行う(N)新青樹を見学した。職員から「NPOの柔軟性を感じた」「市民ニーズを素早くくみ取っている」「行政と市民の橋渡しをしていることがわかった」という声があった。振り返りでは、中ノ池プレーパークにて柔軟に対応できるNPOと協働することで行政だけでは手の届かないサービスも対応できること、協働推進のために職員としてできることは情報共有だとして、連携を強化していくことの重要性を共有した。（竹内ゆ）



中ノ池プレーパークにて

うめぷろ バスツアー 参加者募集

輝け！ワタシ ブランクを埋めて私らしい働き方応援プロジェクト（モリコロ基金事業）は、介護支援フォローアップ講座を終え、「働く現場」を見学することで自分に合う働き方について考える機会を提供する。各日参加可能なため、事務局までお問い合わせください。

| 日程 | 見学先 |
|------------------------|-------------------------------|
| 11月4日（金） | だいこんの花、ゆいの会、絆 |
| 11月12日（土） | もやい、りんりん、共育ネットはんだ、あかり |
| 11月18日（金） 11月26日（土） | 椎の木福祉会、むそう、ネットワークみやび、ネットワーク大府 |

■強度行動障害支援者養成研修(実践) 開催

27年度から初任者を対象に基礎研修を開催、これまで9回開催し356人が修了した。次のステップとして11月6、20日実践研修を実施する。

基礎研修は「チームで支援するための最低限の知識を知ること」に対し、実践研修は「チームで支援するための具体的な方法を立案すること」が求められている。基礎研修修了者かつ実務経験3年以上の指導者の立場にあたる方を対象とし、個別支援計画を読み込み詳細な支援手順書を作成し、支援担当者にその方法を正確に伝達できることを目指す。なお、現行の行動援護従業者養成研修を修了することで強度の基礎研修、実践研修を修了したこととみなされる。また、基礎・実践ともに研修修了者配置の加算対象となる。(経過措置平成30年3月31日まで)(五十嵐、山森)

【基礎と実践の違い】

| 強度行動障害支援者養成研修 基礎研修 (12h) | 強度行動障害支援者養成研修 実践研修 (13h) |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 強度行動障害に関する基本的知識 基本的障害特性 障害特性に配慮した基本的な支援 | <ul style="list-style-type: none"> 強度行動障害がある者へのチーム支援 支援計画の立案、支援手順書作成 記録に基づく支援の評価 |

今後の研修予定

行動援護従業者養成研修(強度行動障害支援者養成研修基礎+実践)(24h)12/4,11,17,18開催

■ベティ基金 新たな展開へ

平成26年12月設立のベティ基金(※)がこれまで行った助成は10月末現在で20団体、総額1,605千円。目的は、制度外の障害者福祉活動団体への支援のため、情報誌発行、勉強会開催、ユニフォーム作成などさまざまに活用されている。

これまでのエリアは東海・知多両市に限定していたが、本年5月より知多半島5市5町へ公募を拡大させ支援の巾を広げていく。(江端)

(※)ベティ基金は、株式会社R and Tカンパニー出資

■フードバンクPJ@ちた 第4回意見交換会

活動4年目を迎え、個人支援をテーマに8月31日開催、35人が参加した。(認N)セカンドハーベスト名古屋(以下、2HN)山内氏より行政連携の近況報告のち、社協、学校、地縁、福祉事務所、NPOが見つないだ支援を共有した。この日の意見交換より提案された内容について、常滑市社協山下氏より「強制」ではなく資源の「共有」を呼びかけられ、次の事後報告があった。(市野)

報告1:食品セットは、困窮の相談があった翌日に届けられるため、その日の食事について9/14、21日(N)あかりがおにぎりやおかずを作って対応。子ども5人含む大所帯ゆえに助かったとのこと。

報告2:2HNパートナー団体のNPOが地元でいただいた食料をフードバンクを通じて「おすそ分け」する取組について、(N)だいこんの花より冬瓜、(N)もやいよりすだちをいただき再配したところ大変喜ばれた。

ふくし職員リレーインタビュー

武豊町社会福祉協議会

事務局次長 藤田綾乃さん



出身は山口県。喘息のため通院していた国立の医療機関へ中学生ボランティアとして参加、このとき出会った重症心身の障害という存在を知り、福祉に興味を持った。母の勧めもあり日本福祉大学社会福祉学部へ入学、児童福祉論研究の第一人者である増山均ゼミで子どもの権利条約の研究に費やした。子ども会を担当しているのも何かの縁だと感じている。入社して3年目の平成6年、地域福祉サービスセンター、平成12年にケアマネージャーを担当した。現在は、法人運営や地区担当、子ども会、母子福祉などを中心に事業全般に関わる多忙な毎日を過ごしつつも、作り置きや下ごしらえに工夫を重ね手づくり弁当にこだわる家族思い。

2025年問題を地域とともに学習し、話のネタにしながら地道に関わることで理解を得つつある。一方で、人口4万3千人の武豊町で子ども会加入率が30%を切ってしまう「地域で子どもを育てる基盤」が弱まってきたと感じつつ、次世代へのつながりをどうしていくのかという不安を抱えている。社協が持つ介護保険事業、障害福祉サービス、地域福祉サービスセンター、地域包括支援センター、ボランティアセンター、障がい者相談支援センターの機能をフルに活用した「ふだんのくらしのしあわせ」をすべての人が実感できる「まちづくり」を目指している。(市野)

☆ご入会ありがとうございます
新会員紹介

【正/団体】公益財団法人あいちコミュニティ財団様

☆

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

■助成金情報

◎オールアイシンNPO活動応援基金

(対象) a社会福祉活動、b地域発展・まちづくり活動
c青少年育成活動 自然・環境保護活動
非営利かつ団体の規模や法人の有無は問わず
(内容) 事業企画等の拡大に対する資金の全額もしくは一部
原則、助成金1団体当たりの上限30万円(愛知県)
(審査) 書類(一次審査)および面接(二次審査)
(募集期間) 2016年10月11日～11月11日(申請書必着)
(応募方法) <http://www.aisin.co.jp/news/topics/index.html>
より申請書をダウンロード、必要事項を記入の上、
「オールアイシンNPO活動応援基金 事務局」まで郵送
(問合せ) アイシン精機株式会社 総務部 (柴田、中根)
☎0766-82-8800、FAX 0766-82-1109

◎第12回TOTO水環境基金

(対象) 活動内容は、地域の水とくらしの関係の再生または
新しい文化の実現に向けた日本国内の実践活動
非営利かつ団体の規模や法人の有無は問わず
(内容) 活動や事業に必要な経費(助成額20%迄人件費可)
1件につき300万円を上限(審査の上助成金額決定)
(募集期間) 2016年10月1日～11月15日(当日消印有効)
(応募方法) FAXで郵送を依頼 FAX 093-951-2718
<http://www.toto.co.jp/company/environment/mizukikin/group/index.htm>より申請書をダウンロード、必要事項を記入
前年度の決算書、活動場所が分かる地図を添付して郵送
(問合せ) TOTO株式会社 総務部 総務第二グループ
(津田、曾根崎) ☎093-951-2224

■第17回行動援護従業者養成研修開催

(日時) 11月6日(日)開講式、11月20日(日)、
11月27日(日)、12月4日(日)修了式
(会場) 認定NPO法人ネットワーク大府 研修室
(受講料) 27,000円(税別)
(定員) 20名
(募集) 10月12日(水)受付開始
(申込問合せ) (認N)ネットワーク大府(事務局 豊田)
☎0562-44-3735

■パートスタッフ募集

①こじろう(放課後等デイスタッフ)

(時給) 900円(実習中は850円、交通費あり)
(勤務時間) 14:00～18:30(月～金)
(資格) 普通運転免許
(内容) 障害のある子どもたちの放課後支援

②相談支援専門員

(時給) 担当件数×6,500円/月程度
(勤務時間) 8:30～17:30(要相談)
(資格) 相談支援専門員、社会福祉士 他
(障害分野で5年以上経験のある方)
(内容) 障害のある方、家族の方の相談支援
※①②とは別に随時、ヘルパー募集中!
(問合せ) (N)ゆめじろう 知多郡武豊町大字富貴外面85-2
☎0569-72-0012(担当:出口)

■介護職員・ボランティア募集

①介護職員

- デイサービス介護職員
- 訪問介護ヘルパー
- 小規模多機能型居宅介護 介護職員

※その他詳細はお問合せください

②ボランティア

あなたの特技を活かして、楽しい時間を一緒に過ごしませんか?まずは利用者さんの話し相手として関わっていただいても結構です。※週1回～応相談、詳細はお問合せください。
(問合せ) (N)だいこんの花(担当:荒木) ☎0562-85-5000

■佐藤仙務 専属ヘルパー募集

(資格) ホームヘルパー、介護福祉士 ※無資格者は、
重度訪問介護従業者養成研修を受講していただきます。
(内容) 障がい者の日常生活の介護や外出等をサポート
(勤務地) 佐藤仙務さんの自宅および外出先
(時間) 時間・曜日は応相談。直行直帰OK
(時給) 1,250円～(交通費規定支給)
(問合せ) info@hisamu.com

NPO現場見学バスツアー

第143弾 空き家対策と農福連携

日時: 2017年2月21日(火)
9時半～16時
見学先: 知多地域成年後見センター、
南粕谷ハウス、びすた～り
(参加費) 5,200円(昼食代別途)

(担当: 安藤)



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631
Fax 0562 (33) 1743